

女性接客用制服のリニューアルについて

2003年10月24日

JR 東日本は、昨年 12 月より男性接客用制服をリニューアルしましたが、駅の女性社員や女性乗務員、びゅうプラザの女性社員等が着用する女性接客用制服についても、本年 10 月 28 日の夏服から冬服への切替時期に合わせて一新します。

1 コンセプト

(新男性接客用制服をはじめとする全ての服種に共通のコンセプトです。)

21世紀にふさわしく、従来の制服とは一新したものであること

「さわやかな対応」を表現する制服であること

「堅実」「信頼」「安心」を醸成しつつ、清潔で好感の持てる制服であること

着てみたくなるような制服であること

2 開発の主なポイント

駅の社員や乗務員等を着用対象とする「鉄道事業用制服」と、びゅうプラザの社員等を着用対象とする「びゅうプラザ用制服」とでデザインを変えました。以下は共通の特徴です。

グレーをベースにJR東日本の品位象徴性を表現したエンブレム等のアクセントでまとめ、新男性接客用制服との統一性を図りました。

ただし、アクセントカラーは、新男性接客用制服のアンティークゴールドに対して、女性らしさを表現するプラチナを採用しました。

落ち着いたセミソフトシルエットのスーツと明るいカラーバリエーションのシャツで女性のエレガンスを表現しました。

色彩は、冬服はチャコールグレー、夏服及び盛夏服はグレーをベースとし、濃い色から明るい色へ変化させて四季を通じた統一感を持たせました。

素材は、軽量化を図り、ストレッチ性を持たせて機能性を向上させるとともに、ソフト感・高級感を感じるものを採用しました。

開発にあたっては、機能性等について着用する社員の意見を盛り込んで最終デザインを決定しました。

3 鉄道事業用制服の特徴

新男性接客用制服と同じ無地のグレーのスーツ型にピンストライプのシャツで落ち着いたイメージとしています。

アクセントとして、上衣には男性接客用制服と同様の襟ラインと、胸と袖にエンブレムをつけています。

シャツは、ピンストライプのピンク、ブルー、グリーンの3色があり、それと同色のリボンタイやネクタイを合わせて着用します。

制帽は、従来は駅社員がトーク型、乗務員が官帽型でしたが、新制服はチロリアン型で統一しました。

4 びゅうプラザ用制服の特徴

前部分にオフホワイトの斜めストライプが入った上衣と明るいシャツ等で華やかなイメージとしています。

上衣の胸には、鉄道事業用制服と同じエンブレムをつけています。

シャツは、無地のピンク、ブルー、イエローの3色があり、それと同色のリボンタイや、自分で形を作るタイプのボウタイを合わせて着用します。

参考資料（冬服）



女性駅長型
駅長・副駅長

副駅長は制帽のラインが1本になります。



女性営業型
駅社員等



女性びゅうプラザ型



女性車掌型



女性運転士型

参考資料（夏服）



女性駅長型
駅長・副駅長

副駅長は制帽のラインが1本になります。



女性営業型
駅社員等



女性びゅうプラザ型



女性車掌型



女性運転士型

参考資料（盛夏服）



女性駅長型
駅長・副駅長

副駅長は制帽のラインが1本になります。



女性営業型
駅社員等



女性びゅうプラザ型



（在来線優等列車乗務）

女性車掌型



（在来線普通列車乗務）



女性運転士型